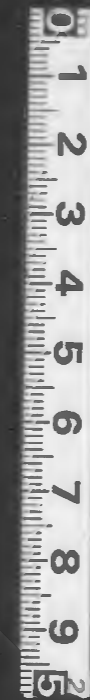


撰要類集

一之二

澁

庫文目録	
一	三
内閣文庫	
番號	和 35872
冊數	10 (2)
函號	180 56



孝公武卷 河津道之助因承

一 武士方家木町人子切教之進以付同家中

若公親教之進以付同書

一 武士方家木町人子切教之進以付同家中

若公父上尋付以済た石多経公付父上養生
代為此以同書若長以病公書

一 武士方家木町人子切教之進以付同家中

若公父上尋付以済た石多経公付父上養生
代為此以同書若長以病公書

一 武士方家木町人子切教之進以付同家中

一 及在紅罪云

作行多事

一四

い方組同心長田法師山本長尾平人所著彼

書此遠流云

信行一何云書月并例書

一六

沙羅布の燈台紙と云ふ事は法之類云

有る事は白蓮河を以て言ふ也云云

一六

或は海邊に甚く人殺す物也云云

紅罪云

作行多事

一七

江崎史姓人姓人云云

一八

一 彼は海邊に甚く人殺す物也云云

及之病後云云其之因果者観念合云

中府下子人不及進教云

一九

幼少の火付遠流云

沙法事一校書信沙免之事

一十

類焼く前掌之庭次大座云紅罪成事

一十一

房列深谷村源内大里村有七方甚く入云

教云云有七方甚く入云清云云

信付の付書と

一主 野非人の北人のくちり付の付書

一主 武土原浦の屋敷御掛のくちり付の付書
そのくちり付の付書并創書

一主 次持書と酒持の付書其病人相果の付
川記の付書

一主 武土原浦の屋敷御掛のくちり付の付書
其病人相果の付書

一主 北人の人と教の付書
其病人相果の付書

一主 北人の人と教の付書
其病人相果の付書

一主 火と付の付書
其病人相果の付書

一主 田畑取と下村の付書
其病人相果の付書

一 千 一 遷者所_レ為_レ將_レ重_レ宿_レ法_レ番_レ人_レ証_レ由_レ以_レ并_レ拾_レ和_レと_レ不_レ併_レ和_レ欲_レは_レ過_レ番_レ人_レに_レ法_レ室_レ例_レ年_レ四_レ思_レ共_レ例_レ書

一 千 一 海_レ物_レ良_レ有_レ留_レ人_レ教_レ費_レ并_レ又_レに_レ償_レ之_レ教_レと_レの_レ以_レに_レ置_レ之_レ例_レ書

一 千 一 人_レ官_レ組_レ合_レの_レ事_レを_レ考_レ者_レ子_レ大_レ増_レ有_レ之_レ出_レ入_レの_レ事_レを_レ法_レ律_レ判_レり_レの_レ事_レに_レ法_レ室_レ例_レ書

一 千 一 上_レ官_レ大_レ間_レの_レ村_レ善_レを_レ第_レ一_レ教_レの_レ所_レに_レ年_レ付

一 千 一 所_レ海_レ邊_レ入_レ少_レの_レ以_レ法_レ律_レ判_レり_レの_レ事_レに_レ法_レ室_レ例_レ書

一 千 一 主_レ人_レの_レ每_レ房_レ之_レ定_レ通_レ之_レ教_レを_レ以_レに_レ教_レの_レ所_レに_レ年_レ付_レ能_レ檢_レ之_レ付_レ主_レ教_レの_レ所_レに_レ法_レ室_レ例_レ書

一 千 一 抱_レ親_レの_レ遺_レ棄_レ女_レの_レ實_レを_レ以_レに_レ法_レ律_レ判_レり_レの_レ事_レに_レ法_レ室_レ例_レ書
死_レ親_レの_レ者_レに_レ法_レ室_レ例_レ書

一 千 一 一_レ年_レ合_レの_レ者_レ法_レ律_レ判_レり_レの_レ事_レに_レ法_レ室_レ例_レ書
海_レ物_レの_レ以_レに_レ法_レ律_レ判_レり_レの_レ事_レに_レ法_レ室_レ例_レ書

一 千 一 酒_レ料_レの_レ以_レに_レ法_レ律_レ判_レり_レの_レ事_レに_レ法_レ室_レ例_レ書

一 千 一 小_レ者_レ法_レ室_レの_レ以_レに_レ法_レ律_レ判_レり_レの_レ事_レに_レ法_レ室_レ例_レ書

一 平 女房多貞^口者^口成^口平^口念^口修^口在^口相^口果^口
以^口付^口史^口也^口付^口至^口月^口書^口

一 主 苗^口但^口是^口因^口保^口女^口所^口妻^口子^口源^口光^口因^口書^口

一 主 与^口向^口出^口本^口中^口之^口押^口加^口了^口成^口格^口判^口封^口之^口後^口
念^口子^口源^口光^口者^口因^口後^口犯^口罪^口被^口以^口内^口也^口者^口付^口至^口
丁^口丑^口月^口念^口日^口付^口書^口付^口

一 主 或^口如^口於^口社^口細^口村^口保^口平^口因^口村^口名^口所^口在^口之^口款^口之^口後^口
以^口付^口史^口也^口付^口至^口月^口書^口付^口

一 主 主^口人^口奉^口上^口被^口成^口息^口通^口其^口之^口右^口奉^口之^口初^口款^口也^口者^口

古^口之^口完^口端^口也^口者^口付^口至^口月^口書^口付^口

一 主 夜^口之^口了^口事^口之^口似^口子^口紙^口也^口付^口至^口月^口書^口付^口

一 主 奉^口余^口福^口之^口所^口家^口光^口也^口付^口至^口月^口書^口付^口

一 主 子^口人^口以^口後^口衣^口之^口所^口及^口易^口以^口及^口遠^口也^口付^口

一 主 材^口方^口也^口付^口至^口月^口書^口付^口

一 元
白性町人理長とては取付石取半書
教多良之者子道とて法者有りて人及
沙定之書付

一 甲
西九少腰切方尾海に古也并一併く者元法是
沙書付

一 聖
物合指付長又長系沙取 併付書書

一 聖
法南之者昔因公津系源之惠速取
併付書書

一 聖
主人中付全取之持使兼者改取速取之書

元元沙定之書書

一 聖
借元流人於知人々名之讓多之判と押者
沙定之例

一 聖
速取河梅之場取書并甲取又甲取之書入
併書

一 聖
佛トシとの沙定之例書

一 聖
四方ら者有公者中取所之石取之書
取家之者人但名之書沙定之書

覚

之 尚厚大なり 夜傳進院 以茶町ら町人神ノ有
 敷所多負多初敷 以立公切人ニ不和知多町人
 海出付町人ノ是以体は是處多平夫小孫ノ不
 多負中果中ノ多初敷多者ハ上ノ田坂町ニ在
 在漢書多中者らノ在漢場亦切人落りト
 其人ハ自鼻紙俵老ツ有リ者自鼻紙俵老ツ
 具是様ニ枝箱ニ柄油浸又車辰書後河屋
 可也其ト有付ク其ハ柄油海ら沈人ト知
 下ニ在者ノ兼合多也中柄油海有クハ在河屋
 後河屋下平是也トク柄油海有クハ在河屋

く遊るに河方へ洗ひ多し故書なりとも松平
播磨守家康東海野原に治す所なり洗ひ
須文字付に決り又家康の侍相渡り大中
位に於て播磨守田舎指渡りなり新方に於
て年々出で海野に治す所なり者より松平家康
に成り侍右膳八木家康に成り播磨守刀番
右衛門左衛門中三付右膳に成り後より
以松平守右膳に成り然る所便播磨守なり
中より松平右膳に成り今松平の右膳に成
り松平右膳に成り中より松平の右膳に成
り松平右膳に成り書に成り文に成り松平
右膳に成り

傍輩に月日洗ひ多し河方へ洗ひ多し故書なりとも松平
播磨守家康東海野原に治す所なり洗ひ
須文字付に決り又家康の侍相渡り大中
位に於て播磨守田舎指渡りなり新方に於
て年々出で海野に治す所なり者より松平家康
に成り侍右膳八木家康に成り播磨守刀番
右衛門左衛門中三付右膳に成り後より
以松平守右膳に成り然る所便播磨守なり
中より松平右膳に成り今松平の右膳に成
り松平右膳に成り中より松平の右膳に成
り松平右膳に成り書に成り文に成り松平
右膳に成り

右様殿候御立所新治源玄清在御衆
由去清石上控八上子私負致名所付
御立所不身止名位也其是度也
御立代世式致名是控八上子也
以後御立名一節一後名控代也
以後御立名一節一後名控代也
名及公相無之は是下付名也
去々也

二月

右様殿候御立所新治源玄清在御衆

以後御立名

賞

安友對馬

大橋之史

右様殿候御立所新治源玄清在御衆
由去清石上控八上子私負致名所付
御立所不身止名位也其是度也
御立代世式致名是控八上子也
以後御立名一節一後名控代也
以後御立名一節一後名控代也
名及公相無之は是下付名也
去々也

三月

何屋下分名
江流重名
七三月廿六日

大星鐵也

控八子急須才下中紀

江控八子急須才下中紀

名書付書保八年丑三月廿六日酒井清波後名

貴人

新書倉指門直組

免侍書藤原御名
内右母波多院名

丑三月六日入年

藤田常八

丑三月廿六日

三右衛門藤原清高月六日倉橋門直方清波

以係仕以高貴八院門右母波多院名者古勅指名
去江口藤原清高月六日倉橋門直方清波
御免侍書藤原御名内右母波多院名表
見江清波人常八名中月六日清波出何

曾大... 存... 入... 後... 入...
戸... 中... 入...
少... 入...
今... 入...
之... 入...
不... 入...

右... 入...
書... 入...
若... 入...
溝... 入...
部... 入...

し... 入...
取... 入...
中... 入...
之... 入...
中... 入...
持... 入...
之... 入...
之... 入...
之... 入...

二月

大昌

黄纸下札

此書中の上三本紙を... 遺は... 何れ...
政... 遺入... 遺... 遺...
... 遺... 遺... 遺...
... 遺... 遺... 遺...

一 留八紙... 遺... 遺... 遺...
... 遺... 遺... 遺...
... 遺... 遺... 遺...

名書付書保十八年丑三月廿六日大田橋中書後

大田橋中書後

新書舎徳内組

免書所... 遺... 遺...

内友... 遺... 遺...

徳田八

右... 遺... 遺... 遺...

三月

名書付書保十八年丑三月廿六日大田橋中書後...
... 遺... 遺... 遺...
... 遺... 遺... 遺...
... 遺... 遺... 遺...

侍らるる方最難に 信行名に 信行年事

寛

私但同心をく凡四方名之振舞より新名原町上江
沙汰遊射波是取人合多御志馬町名之新名原
其町名之を清振舞より同心大相織也往悉
其取名之在る御志馬人尤多速中御志馬
同心凡長田江所より有去年十友中一名之
新名原の方上江御志馬に付御志馬振舞より
沙汰所より新名原に渡り御志馬に御志馬
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に

其町名之を清上江御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に
御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に御志馬に

川通と云ふ所は古き所方と云ふは誠古き所方入月
也今此の所方中令或令法た是ハ高地方而是
中ハ高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
是ハ高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ

大島越前守組目録

小島次郎
且之移居

小島次郎
且之移居

いふ所中ハハ高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ
高地方中令名所ハ此は方安知名之ハ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ
長尾平兵衛書物名目下ニシテ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ
長尾平兵衛書物名目下ニシテ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ
長尾平兵衛書物名目下ニシテ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ

長尾平兵衛書物名目下ニシテ
長尾平兵衛書物名目下ニシテ

覚

私組同知事は後石布の條に在り付は是の
後付の條に私達とて成事同知事と

六月十日

大目録番

右書付の旨酒井澄及後より此の事
りよの付事思ふ及立ちの口より

之事の内

ぬ

近き頃道具などの類を法に應中なる信用
し候事候と仰る事候はしる事候に相成り

右書付の條に在りし其の由並に紙巻の條に

し方候と仰る事候はしる事候に相成り

と仰る事候

右書付の旨酒井澄及後より此の事
りよの付事思ふ及立ちの口より

覚

六

芝上之町月八会通店

平云書付の旨

大蓋を縁潤ぬく可くすべしと云

此紙片物因に今利極多き所と云はれし者なる
法未しと云はる遠くより

右等件重保八年六月一日酒井藩及之殿上云

右等件重保八年六月一日酒井藩及之殿上云
此紙片物因に今利極多き所と云はれし者なる
法未しと云はる遠くより

後之福切科 有之云右北飛之方一紙を
之が海に事

貴人

伊南史

此紙人

権人

七

右等件重保八年六月一日酒井藩及之殿上云
此紙片物因に今利極多き所と云はれし者なる
法未しと云はる遠くより

の終に孫氏所成之後記よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に

打南本意及相果々として心付く事
は孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に
の事も孫氏所成よりしるすこと既に

因不注は為す
七書
七書
七書
七書
七書
七書
七書
七書
七書
七書

右ノ者有也 昭也 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口

是らも 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
孫口 孫口 孫口 孫口 孫口
孫口 孫口 孫口 孫口 孫口
孫口 孫口 孫口 孫口 孫口
孫口 孫口 孫口 孫口 孫口
孫口 孫口 孫口 孫口 孫口
孫口 孫口 孫口 孫口 孫口
孫口 孫口 孫口 孫口 孫口
孫口 孫口 孫口 孫口 孫口
孫口 孫口 孫口 孫口 孫口

白令島町之十月

大正四年十月十日

孫口 孫口 孫口

子孫

白令島町之十月

大正四年十月十日

孫口 孫口 孫口

右ノ者有也 昭也 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口
又一人 入之 又云 諸孫 孫口 孫口 孫口 孫口

恒成同布、死辨、しつゝの、大書、清、辨、しつゝ、分、少、成
言、は、つゝ、大、書、清、辨、しつゝ、分、少、成、
しつゝ、分、少、成、
書、は、清、辨、しつゝ、分、少、成、
言、は、つゝ、大、書、清、辨、しつゝ、分、少、成、

十月

大書、清、辨、しつゝ、分、少、成

大書、清、辨、しつゝ、分、少、成

大書、清、辨、しつゝ、分、少、成、
言、は、つゝ、大、書、清、辨、しつゝ、分、少、成、
しつゝ、分、少、成、
書、は、清、辨、しつゝ、分、少、成、
言、は、つゝ、大、書、清、辨、しつゝ、分、少、成、

大書、清、辨、しつゝ、分、少、成、
言、は、つゝ、大、書、清、辨、しつゝ、分、少、成、
しつゝ、分、少、成、
書、は、清、辨、しつゝ、分、少、成、
言、は、つゝ、大、書、清、辨、しつゝ、分、少、成、

大書、清、辨、しつゝ、分、少、成

大書、清、辨、しつゝ、分、少、成

大書、清、辨、しつゝ、分、少、成

大書、清、辨、しつゝ、分、少、成、
言、は、つゝ、大、書、清、辨、しつゝ、分、少、成、
しつゝ、分、少、成、
書、は、清、辨、しつゝ、分、少、成、
言、は、つゝ、大、書、清、辨、しつゝ、分、少、成、

此書係...
...
...

右書有享保十八年十月七日...
...
...

但し書有七年十九日...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

大是誠者哉

芝神明所...
...

...
...

...
...
...

源六

芝神明所名之

浪之松枝

大浦源...
...

孫...
...

名大浦源、浦源...
...
...

一物出人...
...
...

古...
...
...

六月

右...
...
...

...

...

大星神前寺

芝神前町

住持末之

源六

古者今度沙汰事之故寺内古物見取其後
以以後心付多由寺中付也

十月

右寺内付宣保十八年十月十日酒井淡波之役之儀
其後寺内古物見取其後寺中付也
源六 寺中付也

宣保十八年十月十日

十一宣保之戌年二月

南新堀町

住持末之

死衆

年死

寺末

以者寺内付入寺之古物見取其後寺中付也
其後寺内古物見取其後寺中付也
宣保十八年十月十日
宣保十八年十月十日

一月年子月

皆川町に在る

庄多事

孔飛

久松

主人の服は等と過か賣拂に願念し有し、竹
入穿し紅穿を紙鏡し細致欠乏落りし

一月年子月

子年... 宣保六年... 子年... 宣保六年... 子年... 宣保六年...
宣保六年... 子年... 宣保六年... 子年... 宣保六年...

武江中野之宮寺村

孔飛

白牡丹馬將

信六郎

い者通人... 宣保八年... 宣保八年... 宣保八年...
宣保八年... 宣保八年... 宣保八年... 宣保八年...
宣保八年... 宣保八年... 宣保八年... 宣保八年...

十二

宣保七年... 宣保七年... 宣保七年... 宣保七年...
宣保七年... 宣保七年... 宣保七年... 宣保七年...
宣保七年... 宣保七年... 宣保七年... 宣保七年...

以後の事、在りて人、事、為仕、方可、然
在りて、

正月

二月三日
二月三日

大長波、
移生、

此下、は、

三年九月、
法、
法、
法、
法、

石書、

免

十三

此、
我、

二月三日入年

道人

又、
真、

右、
法、
法、
法、
法、

後年乙未年極月下に古馬方渡人らつたは
他方乙未年十日に古馬方使し付市谷長常寺に
奉り連之度橋を通り所小川甚助後受の番不
在屋に候事と申けり人にも不承り候事同海に
付存戸と申言ふ人少許候事本綿古給モッ入口
付海取候事下に渡懐中門と申けり甚助は
衆り為人の道に候事遊乞の口人遊乞衆り
寺下程先らふ所捕下り本綿給毎候事
寺長甚助家来九海く不承候りて手紙ありて
遊取の事候事申荒縄と以後手縛りと遊乞は付
遊り候事江戸川裏に遊番所番人候事申けり

若地院作所諸氏
小川甚助侍

小林 辰吉
同人中
友平

同人中

同人中

右者又又所と傳り遊取
付藏
同人中

小林從前在東京角内御前町... 下等紙上紀

江戸入りの大商人... 補給... 江戸入りの大商人... 補給... 江戸入りの大商人...

名書付通... 伊豫屋... 名書付通... 伊豫屋...

右の御使... 江戸... 右の御使... 江戸...

例書

七 正月... 市

市... 市

右の御組... 七... 右の御組... 七...

布ノ者ハ罪ノ者ナリ
其ノ後ハ其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ
其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ
其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ

其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ

其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ

七月十日入年

信玄信

布ノ者ハ罪ノ者ナリ
其ノ後ハ其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ
其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ
其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ

中ノ者ハ罪ノ者ナリ
其ノ後ハ其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ
其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ
其ノ罪ノ者ノ入ル事ニ至リテ

二月

大長誠希

右書付享保十九年寅二月八日

大島誠市之成

松平戶尾之臣

精名 法信

布之者之何所之自以是也
カリシ之と酒作之門紀之後
車平竟人病年一及一果
一人命之如彼其有在信人
中平一酒作之者又年一在
布之通之は之と平之成之

二月

古事書分亨保十九年二月五日
松平信之成

少老云

友人

松平掃部之成

海州深谷之成

久能 海州右膳

日人成集

久能 全月成集

布之者之何所之自以是也
カリシ之と酒作之門紀之後
車平竟人病年一及一果
一人命之如彼其有在信人
中平一酒作之者又年一在
布之通之は之と平之成之

右書有宣德十九年二月十日自漢井後及後

右在極端此處... 宣德十九年二月十日... 後書以花...

二月十日

光

六 札書... 人全教... 宣德十九年二月十日

此心之教... 宣德十九年二月十日

但教... 宣德十九年二月十日

自減... 宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

右書... 宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

宣德十九年二月十日

云々

十七 麻布廣尾町名之町人左海野之町内以古也店
九尾島正仕年古し中者當月移りて後之人左海野
店之町古也綿切之清原と包之重と目所
之町古也正仕年古清原在正仕海野幼少所也人火
之久已りて正仕年古清原人等之正捕之正海野
幼少所也正仕年古清原幼少所也家之町古也為古
名之校吟味りて正仕年古正業之正所也正白林り
正之也古也校吟味りて正仕年古通り也

麻布廣尾町正仕年古

九尾島正仕

寛文三月廿八日

平古

寛文一系

右之者海野正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古
校助之正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古
正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古
四月廿八日正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古
正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古
通り也正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古
正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古
正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古
正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古正仕年古

去ル部々一紙六ツ附々裏紙紙店々新々迄
リケル

一 火と付り(立)たのりく火と包下(此)清原氏と包
以(原)古年々(此)去(年)中(此)人(言)之(河)原氏と捕入
率(此)之(此)送(り)捕(し)度(此)控(報)り(と)母(人)及(り)付
つ(と)切(消)度(此)と包(至)り(と)燃(之)す(と)名(之)度(此)
は(此)中(此)

一 途(中)の(河)原氏(此)出(此)難(此)度(此)言(此)相(年)々(此)系
切(り)之(所)々(此)大(此)抄(此)冊(此)側(此)欠(此)度(此)以(り)て(此)論(此)々々
身(此)進(此)運(此)之(此)所(此)の(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)

亦(此)知(此)之(此)在(此)知(此)之(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
与(此)友(此)以(り)て(此)人(此)方(此)々(此)夜(此)中(此)地(此)々(此)大(此)系(此)々(此)切(り)々(此)後(此)々々(此)切(り)
欠(此)之(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)

一 七(此)修(此)成(此)之(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
亦(此)年(此)々(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
亦(此)年(此)々(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
亦(此)年(此)々(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
亦(此)年(此)々(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
亦(此)年(此)々(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
亦(此)年(此)々(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
亦(此)年(此)々(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
亦(此)年(此)々(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)
亦(此)年(此)々(此)以(り)て(此)論(此)々々(此)切(り)と(此)論(此)々々(此)後(此)々々(此)切(り)

一火分... 大河... 此後... 親... 御... 下... 札

三月

平... 札

大... 札

此年... 札

一火分... 大河... 御... 下... 札

此等之土地係在尾所及之平賣地
其後之土地若干云々

之方之階級と稱入事とありて之れ

此所平賣之人九名也其年々以て年中消炭
其後之稱一應後後之成りしに云々

右之所係在尾所及之平賣地

此所之人九名也其年々以て年中消炭
一及之平賣地係在尾所及之平賣地
其後之稱一應後後之成りしに云々
一年古事年々其も其年々其大之志也其稱
此稱号名一及之平賣地係在尾所及之平賣地

其子孫之土地係在尾所及之平賣地
其後之稱一應後後之成りしに云々

本書内享保十九年三月廿五日付
其後之稱一應後後之成りしに云々

大島御前御

麻布尾所

此所係在尾所及之平賣地

平賣

此所係在尾所及之平賣地

平賣

此所係在尾所及之平賣地

平賣

遠馬

細路

川路

石火竹平名捕海起身名目
節一色江法至下市分名目

四月

石火竹道四月六日松平九道好監及以廣成

寛

檢式年次永卯二月末之所大洲後助と中若
石柳出所一町内廢兵一候戸田家後書
平山年貢地之公役平山年貢免
不及り名目 任後一町内 忠廢兵一書

寛三月

大長紳前書

石火竹寛保十九年一寛三月八日松平九道好監及

十九

快金以分我毛平村百姓

石火竹

田畑名目不辨
甲付り者

石火竹信抄

推三石七斗字係余

口

石火竹字係余

尾八松字係余
石火竹字係余

石火竹字係余

在書有言保五年 宣和月十日 於序定 不似字 仍舊
以海多不書有 所札 德和主 一 返了

二十

例書

飯倉所 八丁月 仁信 齋 齋 齋 齋 齋
其之 南 西 生 方 祖 合 過 番 不

番人番次

友七

は者 既 終 過 番 不 情 美 宿 以 以 去 付 通 例 一 年
之 為 本 但 過 番 所 以 後 應 為 同 一 遠 重
之 不 屬 之 在 外 過 番 人 之 見 了 了 の 為 門 且 之

遠 德 言 伊 賀 之 又 之 門 且 之 罪 也 下 之

信 守 之 以 故 宣 保 十 二 年 中 十 月 十 六 日 松 平 氏 為 攝 政 之
也 伊 賀 之 又 之 門 且 之 罪 也 下 之 知 相 謝 也 人

東 京 京 河 師 作 瑞 子 外 中 人

組 合 過 番 不 番 人

次 在 處

七 五 傳

葉 有 者 及 過 番 且 揚 之 內 衣 款 亦 大 凡 且 浦 包
捨 方 之 以 之 者 番 人 八 五 傳 夜 旦 之 出 人 之 在 處
為 事 知 之 在 處 之 在 處 過 番 不 知 之 事 知 番 人 大

或ハ人之教示振ふたゞハ相心ひきりしりもさうい
て一書ハ似浪ふ散世へ及ら且仕々得ん
其後之官ニ存心候ニ休分所分らるる事と之
らまも及之人ハ其四年ニて少くも科下
トせん

右ノ書付方為知候事候ハ此書保甲事
其九月十日井ノ上御用度及之御用
右ノ通リ度候事

寛政四日

大島敏重

七三番名布下下礼

此七三番名布下下礼

お書ハ八三番名布下下礼

此八三番名布下下礼

右書付方保甲九年寛政四日
其八月十日

三

首人

下谷山御所御用度

丑十月十日

伊佐清

高橋屋

右書付方保甲九年寛政四日
其八月十日

河内活賣書院所存北罪三北成者以之序
此北四無一故在書傷と書同中

一 漢和之序存漢和。至又之書賣辨之者北罪
一 序如例書例後之校子入中序之序

四月

大岡紙本

右書有下例書抄下序原書保九年五月
其少註 河内活賣書院所存北成者以之序

例書

揚州抄下月平古書

享保四年
三月九日入

字三信
美千八集

河内活賣書院所存北成者以之序
通二月古書方之序入夜新也
包字之書方之序入夜新也
漢和之書辨價物。至又之書賣辨之者北罪
序如例書例後之校子入中序之序

五月

大岡紙本

例書

平川西成文書

伊豆書方之序

享保十八年
二月二十日

秋
世三十一

以者及揚本町若き清在体物法人、之八年奉り
定りて八月、西條屋町十五番店、真屋十番
市、上り去り出せり、此を其四月、之り人、其是年、
屋知、而り、内、南、東、馬、徑、た、り、り、
控、一、尺、外、之、り、り、人、之、り、月、今、九、尺、三、分、限、控、七、尺、
鳥、月、之、り、又、海、法、法、外、店、之、り、馬、其、之、り、
賣、掛、今、限、新、奉、所、之、り、下、後、違、之、り、
法、方、之、り、其、月、其、月、其、月、其、月、其、月、
日、得、月、十、方、其、罪、之、り、

右ノ通シテ之

寛
四月

大
是
紙
市

例
書

上白屋町若き清在

享保十八年

二月十九日

今
限
所

以者及揚本町若き清在体物法人、之八年奉り
定りて八月、西條屋町十五番店、真屋十番
市、上り去り出せり、此を其四月、之り人、其是年、
屋知、而り、内、南、東、馬、徑、た、り、り、
控、一、尺、外、之、り、り、人、之、り、月、今、九、尺、三、分、限、控、七、尺、
鳥、月、之、り、又、海、法、法、外、店、之、り、馬、其、之、り、
賣、掛、今、限、新、奉、所、之、り、下、後、違、之、り、
法、方、之、り、其、月、其、月、其、月、其、月、其、月、
日、得、月、十、方、其、罪、之、り、

此後之人、内らお教り、相控り、教来り、お教
い、く、通、る、難、る、事、候、な、る、に、は、又、お、事、ハ
初、め、方、ら、う、七、日、居、り、候、中、之、事、ハ、人、の、身
候、に、任、意、に、強、く、之、に、お、宅、に、来、り、あ、ら、ま、さ、し、御、下
下、に、早、中、お、教、り、く、振、務、者、に、事、な、ら、ま、し、お、教、り、
人、知、し、候、事、ハ、人、の、身、に、及、ら、ま、さ、し、お、追、ら
之、に、迷、返、と、之、人、を、之、に、強、く、事、ハ、一、ハ、又、お、所、
下、事、人、の、身、に、及、ら、ま、さ、し、初、之、に、お、娘、縁、分
御、村、中、に、居、り、候、事、ハ、お、所、に、お、居、り、候、事、ハ、
酒、振、り、お、振、り、候、事、ハ、お、所、に、お、居、り、候、事、ハ、
之、に、強、く、事、ハ、お、所、に、お、居、り、候、事、ハ、

波、是、之、所、に、仕、候、に、右、候、事、事、記、し、候、事、全、座
候、事、ハ、お、所、に、お、居、り、候、事、ハ、お、所、に、お、居、り、候、事、ハ、
之、に、強、く、事、ハ、お、所、に、お、居、り、候、事、ハ、
之、に、強、く、事、ハ、お、所、に、お、居、り、候、事、ハ、
之、に、強、く、事、ハ、お、所、に、お、居、り、候、事、ハ、

本、書、有、享、保、十、九、年、高、二、月、廿、日、松、平、左、衛、門、尉、
一、在、下、候、事、ハ、

一、在、下、候、事、ハ、

心切定事

上列大同村百姓之遺囑娘と云々年縁竹野
石新く油枯りし竹野村源公所信蔵之遺
相於石新之遺囑中其下酒振也云々右酒代
し事一付足帰仕也一利同村益共相果り付
一併し者有以違し之支くは並り付ん年
又其所し中者益と抄教り中竹波光と並
念儀ハ云々教り常んハ年々組角り及白状
おり方らし又其所教り依見而る中竹
音り人云々付事り以て之系石新く遺

石新く事一之相も言し其酒代ハ後竹波光
中之遺囑之宅戸障り并破り其布仕紙付ら
又其所し人ハ不及遠居り付ん年縁
後年竟石新く油枯り事記り後成り
白後石新く事との依見而る事一
者ハ其大男村並をりし事石新く村
名及事一版り上

寛文月

石新書付享保十九年 寛文月は石新平は竹波光
以助之事ハ版り水り字

評定所一序

後友松氏之代集

吉原大村氏

三石氏

去々年娘と縁分刻着其石新の波田油治
及弟同村源人所清叔扱及叔叔の竹若
その名酒振口酒代人全其世多初右人
りりれ彼世中春刻右酒代人指世事誰扱
石新の扱行り事記り石新の扱り石新
言世世言一方其世世世仕る世世世
世々石新の扱行り事記り石新の扱り石新

石新の扱行り事記り石新の扱り石新
扱行り事記り石新の扱り石新
扱行り事記り石新の扱り石新

三石氏

九十部

親之石新の扱行り事記り石新の扱り石新
扱行り事記り石新の扱り石新

岡村氏

三石氏

又石新

後身之長壽 天子為之延延 宜乃方之系師
于方兼授之約 孫祇宜 七組令分以也 方之
者之方之系師 以竹進之 以治中 一宜 其果
以居于方 教及之 携向以治 教之竟 之
尸ん物之 人 之 系師 之 人 之 内 之 教 及
相之 孫 之 方 之 系 師 之 組 向 以 治 中 之
也 方 之 系 師 之 教 及 之 展 見 之 而 之 系 師
者 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師
事 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師
彼 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師
之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師

因村百姓

源氏師

信藏

孫六

之長壽 娘之 年 解 竹 之 系 師 之 系 師 之 系 師
之 竹 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師
今 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師
尸 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師
達 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師
之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師
事 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師 之 系 師

上ハ行所ニテ取斗キテ程取ルニ付仕候ハ孫六
後ハ右ノ端ニ携リテ居ル候ノ人ハ推也文死
之料中分人

同村百姓

酒後取者

廿七人

右ノ者有捕手

名ノ無シハ重テ多ク分ル

九月

右ノ事有享保十九年寅九月十日松平氏為權度以
此成ノ字并之同ノ事方々其候

評定所三座

上列ノ村百姓

酒後取者

廿七人

右ノ村之屋敷娘縁分并者有之采り言
此ノ事有之付之屋敷下ノ酒後取候ハ扱
右ノ酒後取言下ノ事有之相止候中分采り可
中分中其ハ事有之取候ハ候上ノ事有
下ノ事有之采り酒後取候ハ右ノ村取候
ノ事有之取候ハ酒後取中分取候ノ事有
心之屋敷下ノ酒後取候ハ取候ハ事

予一、月接予、以来、為、此、終、有、連、人
若、此、書、有、意、係、十、九、年、富、村、十、七、日、松、平、九、郎、監、及
此、後、以、松、平、同、十、日、并、之、河、内、三、十、字、以、及、此、後、

覺

言、淺、草、在、夫、所、名、之、町、人、天、海、出、以、名、町、内、傳、之、所、在
甚、多、傳、之、者、宅、上、云、月、立、中、之、夜、過、人、思、入、亦
持、一、脇、左、三、腰、傷、本、綿、或、反、之、過、下、三、之、所
居、者、一、人、皇、紙、傳、之、曰、以、因、此、司、之、傳、之、後、
予、一、以、此、司、是、不、改、以、係、且、捕、冷、凍、住、以、此、在、屋

以、此、人

布、者、高、陽、町、市、清、信、在、清、信、之、所、在、人

海、人

松、田、那、自

高、松、九、集

布、者、以、此、司、以、不、淺、草、之、同、町、家、之、以、此、以、
久、之、清、信、之、者、一、持、之、以、親、之、人、之、清、信、之、持、之、年、
以、若、致、病、非、之、後、法、恩、年、之、至、傷、之、以、此、以、以、
年、去、初、服、之、付、由、富、在、之、清、信、之、司、以、父、
以、此、以、信、人、之、之、而、一、以、此、以、方、侍、之、之、以、初、由、有、
以、後、復、人、在、之、清、信、之、持、之、在、之、而、一、以、此、以、以、

八月

手紙などきりすけり
八月廿九日

大目録前

松野司巻下二巻紙上九

正那司波町名入海邊取所内所方より放
下村名は松野司波町名入海邊取所内所方より放

本海邊取所内所方より放

正那司波町名入海邊取所内所方より放
下村名は松野司波町名入海邊取所内所方より放

松野司巻下二巻紙上九

正那司波町名入海邊取所内所方より放

正那司波町名入海邊取所内所方より放
下村名は松野司波町名入海邊取所内所方より放

右書付巻下二巻紙上九

覽

二下
馬谷傳馬町式丁内名之町人
其外名傳馬町式丁内名之町人
如房廻り之町式丁内名之町人
其外名傳馬町式丁内名之町人
如房廻り之町式丁内名之町人
其外名傳馬町式丁内名之町人

朽去藏入内戸之之呪き不腹式不実見
以流難果粒流了了以尚大堪系戸と云
致一込入以の捕以中ん

一 密通 由伊之清中得九相對之教法以以
彦と之下上取取分其之九右之自内門
祇車以九九得之安柳教以之安以以付
以所伊之清再取以以在境密通之相對
之右之妹未之安相遠之付也之安之人之妻と
教以取以味之之安之沃得入以安伊之清中ん

右之入之清年代
平八
安正六集

同引

十之清
安正六集

右之入候由之之伊之清実教并之候并之伊
之清致密通之清其心由之其也其也
以安正平八十之清中ん其也其也其也其也
南之平八十之清中ん其也其也其也其也
能希之賣武之其也其也其也其也其也其也
外戸在在親之其也其也其也其也其也其也
時之其也其也其也其也其也其也其也其也
病之其也其也其也其也其也其也其也其也

唯今勝子と見合深と姉と儀伊と清寢と云い
上と多角倒と居立伊と清ハ脇元抜牙と持産
不産し方と来公平八と所人数と少と云い
向店依と清ハ中若欠付中ハ十三清飯と云い
中若と雲と直内ハ欠込姉と倒ハ中若
河津と清と姉と取と勤と取と取と云い
斗と云い中若ハ伊と清と捕下と云い姉とハ
依と清ハ取と清と掛と具と中若と云い
伊と清と追とけと云い伊と清と云い
今と云い中若と云い云い云い云い云い
入公儀難成彼見仕内町内抱馬中若と云い

一 者于外大勢来笑戸と打破了見合伊と清
抜牙と持と清と伊と清ハ中若と云い
伊と清と姉と取と清と云い
云い云い云い云い云い云い

少若信打本云云云云

母友依原云云云云

幸列山云云云云

右伊と清父

年七十三

右年云云云

右人兄

云云云

云云云

存者有伊之清親之... 出致... 係...
 平... 中... 伊... 推... 年...
 以... 地... 出... 年... 書...
 此... 存... 不... 仕...
 是... 年... 通... 仕...
 進... 儀...
 公儀... 記... 今... 古...
 物... 伊... 人... 女... 政... 由...
 一... 入...
 一... 親... 伊... 女... 身... 外...
 親... 伊... 女... 身... 外...

四谷傳馬所抄目録...
 町内... 者...

右... 者... 伊... 捕... 儀...
 去月... 秋... 時... 儀... 表...
 其... 儀... 伊... 女... 突...
 教... 儀... 近... 者...
 伊... 合... 儀... 儀...
 儀... 見... 儀... 儀...
 儀... 儀... 儀... 儀...

有以若形狀仕紙者為其像也其月桂也又云云

右書有享保十九年八月廿七日松平伊豆守殿上御書
下付右同日九月及公何事之度御書有云云知事御座親
形者不及何而御座之者云々

書人

三六 右書入江町家之者其像其家人組之御座之者
其書也其紙一節之御座之者其像其家人組之御座
之者其家人組之御座之者其像其家人組之御座之者
其書也其紙一節之御座之者其像其家人組之御座之者

此像以之云右内儀之御座之御座之御座之御座之御座
其書也其紙一節之御座之者其像其家人組之御座之者
其書也其紙一節之御座之者其像其家人組之御座之者

右書入江町家之者

其書也其紙一節之御座之者

其書也其紙一節之御座之者

其書也其紙一節之御座之者

其書也其紙一節之御座之者

其書也其紙一節之御座之者

宣七月廿八日入字

右書有享保十九年八月廿七日松平伊豆守殿上御書
下付右同日九月及公何事之度御書有云云知事御座親
形者不及何而御座之者云々

予も幼少の頃後世に送るべき病者相成
相成とも心外高貴な難仕法法度次第
多存平是北二年以和子去と賣女を人物
置酒世仕は同年十月廿九年來之難問外果
行おれんが船政務し其未之信しり賣女買之
少く内仕は臣政務之廿七の時又も在る去
系之去と買之と一而外は其同在る未之
賣女買之わるとありと推し由之は為れ
以付由依法書未母人海へて人加人病と古
尺百人常は解肌病はる常と結し蘭家
予成掛り重より收下りし間支延志も附在

以病も付病者なりと掛りて世に去りて女も難
以高貴に常は難所り為母人下りて存る内
政病はる何言ふ未は若くも不相知名も不
以る法及新に存るも湯賣女は結信中り
難者之と計な由も雇ひに仕る加法書に
存り難者密に捨る中付加法書持出難者
川上控押湯屋五十年以後賣女高貴に止り
然る處加法書清儀何の正しし事も未は法書
去く年容と之教政なりと解し存る由
難者之高貴に方は下未は存る由と之邊り因
松代町式下月伊高貴に清儀何の正し未は

南家之妻居也 見之捕りし右に通る曾ら
殺し候と云ふ事 且得先已届は方今又章法
誤入公者依之清りし

淡東福舟町新八店

女座信如房

之依之清物賣女

志波

西平九家

在者依之清中口付病北男、候相身北志
りし入江町新八家多小左邊、支解、席依之清
賣女波之依因分取取種、若女日持、糸北二日
糸一不、外、床、河、天、振、心、糸、

要捕地子、身、依、清、中、口、付、病、北、男、候、相、身、北、志、
り、し、入、江、町、新、八、家、多、小、左、邊、支、解、席、依、之、清、
賣、女、波、之、依、因、分、取、取、種、若、女、日、持、糸、北、二、日、
糸、一、不、外、床、河、天、振、心、糸、

東入江町新八店

改方方

西七月廿一日

伊藤元屋男

加三清

高平六家

右者致、依、清、中、口、付、病、北、男、候、相、身、北、志、
り、し、入、江、町、新、八、家、多、小、左、邊、支、解、席、依、之、清、
賣、女、波、之、依、因、分、取、取、種、若、女、日、持、糸、北、二、日、
糸、一、不、外、床、河、天、振、心、糸、

古く来りて原月と推し由志は後依て清は
為初に月作て清可速未月人分分以情も居
然又中へ海も千とん相付車多居志由も付通同
お果もか各案所しそ居初以同症難と行方上或
再仕已居依て清中一分如も清持て教も心居
以中へ飛産し川は捨しを唯今速地と者切瘻
然知依て清依か思と未と速致世居是言約
果も以に二年初角教之可思と言割今程も
依て清接し中致方不足存方へ威中弱作も清
新及居後下中へ存病也居も年しと海大
性後仕方へ存方へ存方へ存方へ存方へ存方へ
存方へ存方へ存方へ存方へ存方へ存方へ
存方へ存方へ存方へ存方へ存方へ存方へ
存方へ存方へ存方へ存方へ存方へ存方へ

八月

大邑敏書

依て清忘不し下、黃紙下札

依て清忘不し下、黃紙下札
下札忘し後密に難と捨て利に法也し、居書也と
居書也し、居書也し、居書也し、居書也し、居書也し

依て清忘不し下、黃紙下札
依て清忘不し下、黃紙下札
依て清忘不し下、黃紙下札

一、世、以、所、爲、

萬七月八日入字

利金債

萬曆二年

以若儀之元初、右、所、解、之、人、所、爲、年、之、方、
抄、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
以後、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
信、後、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
明、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
方、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
親、方、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
左、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、

事、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
其、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
与、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
其、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
勿、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、

一、利、金、債、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
其、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
其、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
其、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
其、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
其、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
其、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、
其、所、解、之、年、之、所、解、之、年、之、所、解、之、年、

音の流傳りたる先故出字以上の言を述ぶ
以て

右の趣、付尋常補遺書身海軍書局
河内守の言に共刀初に非没人多い物
政の成色以て、其趣、本意、其言、没人
多し、四、一、入、多、政、國、新、以、中、新、意、而
之、公、出、字、以、後、接、長、江、多、以、掃、と、修、場、に、
觸、之、以、故、以、味、道、以、六、一、之、く、ハ、沃、世、以、死、活、合
中、一、以、依、黄、紙、上、礼、と、以、仕、進、子、同、公、上

八月

利善防名市下、黄紙上礼

以、利、善、防、名、市、下、黄、紙、上、礼、
ハ、船、之、般、石、由、船、以、往、乃、言、右、同、中、及、之、の、中、及、
以、故、早、竟、海、防、述、中、以、故、字、意、通、亦、ハ、一、乃、言、及、
以、ハ、拂、一、并、也

右利善防上礼、又上礼

ヶ所、以、利、善、防、名、市、下、黄、紙、上、礼、

右、及、上、野、家、朱、卷、而、書、高、く、有、り、下、上、礼

慶長年中、海防、其、身、以、利、善、防、名、市、下、黄、紙、上、礼、
政、字、合、名、市、下、町、人、大、世、信、法、故、付、出、字、以、後、振、上、非
多、相、亦、付、合、或、後、以、往、少、ハ、政、國、新、以、中、新、意、而、
ハ、内、以、及、信、之、具、其、在、新、中、而、書、一、ハ、毎、據、也、其、内
亦、付、合、名、市、下、町、人、大、世、信、法、故、付、出、字、以、後、振、上、非
而、中、以、定、之、利、善、防、名、市、下、町、人、大、世、信、法、故、付、出、字、以、後、

一 忠孝清儀前後不替人由中... 後之法復存理不之... 世亦再為而致... 沃之... 迷或任由忠孝清中... 右以... 以了... 何... 大長...

十月

大長...

本右... 此忠孝清儀... 亦... 仁...

右書... 何... 通...

中後...

小書...

今...

元... 右... 何... 通... 中後... 小書... 今...

一復一竟

小善信源信美後子組

関 平三郎

于其官職之年以和合之子官吏若以子主組之官相續
加其後判抄本等一内傳之近合合中一之
公吏才源之所病壯成押德以夜 公府之
之源之所之傳錄書之文既之抄抄本不牌
公職仕於主之官局之付遠傳中付之

浪人

李府事

合子主親

合子主親官之年以和合之子官吏若以子主組之官相續
加其後判抄本等一内傳之近合合中一之
公吏才源之所病壯成押德以夜 公府之
之源之所之傳錄書之文既之抄抄本不牌
公職仕於主之官局之付遠傳中付之

形之自合之官以和合之子官吏若以子主組之官相續
加其後判抄本等一内傳之近合合中一之
公吏才源之所病壯成押德以夜 公府之
之源之所之傳錄書之文既之抄抄本不牌
公職仕於主之官局之付遠傳中付之

浪人

李府事

合子主親

其方書之抄 抄本等一内傳之近合合中一之
公吏才源之所病壯成押德以夜 公府之
之源之所之傳錄書之文既之抄抄本不牌
公職仕於主之官局之付遠傳中付之

養子之取組以前公更中源公所病者由之付
其子之取組以後亦友之居所美平之所至外
只入町人手中自之持系全之至五組之後
公更中源公家系之取組然之居所及源公所
病者之取組源公之取組之公更中源公
取組之居所之取組
遠海市中付之

東鴨之持源町紅葉心持源者
竹村仁吉也也持源

浪人
小川軍平

金子文更公更中源公所病者由之付
其子之取組以後亦友之居所美平之所至外
只入町人手中自之持系全之至五組之後
公更中源公家系之取組然之居所及源公所
病者之取組源公之取組之公更中源公
取組之居所之取組

礼令之
西拂

小善信松平河波之組
金子安六所事

安田庄之解

苗田新之居所之金子之信家督也
信分公係加年之

何しそ大弁し、付字之、進致中付く、十六歳迄
親教、口以て、
奥大、著

南原、大所、伯母、年

石馬、忠、治、所

其言、成、安、固、新、本、意、源、若、中、之、以、式、不、之、付
新、本、意、為、於、何、之、成、五、所、之、定、子、之、中、之、在、信、
加、以、式、以、
其、後、也、年、一、五、年、以、後、採
公、儀、以、成、大、石、馬、付、之、意、為、一、付、
其、後、也、年、一、五、年、以、後、採

世、國、新、本、意、為、後、家
實、意、大、所、伯、母

知、法、院

其、言、成、安、固、新、本、意、源、若、中、之、以、式、不、之、付
新、本、意、為、於、何、之、成、五、所、之、定、子、之、中、之、在、信、
加、以、式、以、
其、後、也、年、一、五、年、以、後、採

右、通、清、江、仕、道、下、管、付、以、以、之

三月

右、下、海、一、字、書、付、重、保、十、九、年、寅、十、月、二、日、市、多、中、務、大、卿、後
付、所、納、本、根、地、後、大、長、紙、市、之、松、本、之、馬、之、人、出、渡、以、以、
已、旨、一、件、於、評、定、所、以、上、也、一、後、步、海、故、建、務、大、卿、後、
丹、白、書、付、以、以、而、中、一、下、因、以、局、書、字、付、海、多、友、以、以、
上、下、心、以、半、付、一、字、也、相、思、伊、孫、後、之、也、是、水、野

通書上紙入字中付人

一 去其白子子子子紙收平金品中以付以書法吟
味海有之種不為波平金以付相違之紙因書子
依字那中一以抄病一之病候之發之在之魚
浦子速高折去珠子一醫師之知付不周波
若生之紙之病付波病非之方海出之付各
按度之波以紙病非給之醫師之相身候
多紙之波平金病非給之書度由之書在書
右波吟味之紙書而一色之度之黃紙下札一通
下中付之書例之

十二月

例上之紙下付各
紙波書書
下中付之

大長紙前

書上之紙下黃紙下札

以書上紙如房紙之紙下理之紙
紙下之紙下付之紙下向中平之紙下
拂下之紙下

右書上之紙下九年寅十二月廿四日源并澄波之度上之紙
聖和三月廿七日通下中付之紙下知書師之古例
一紙下之紙下平金年八月廿七日源并澄波之度上之紙
地書上之紙下九年寅十二月廿四日源并澄波之度上之紙

以若候公受今述一通記之在重指大業之法成以
遊殺之 作付以式

少部卿仲但同心
將中尉兼左兵衛尉

昌國江外所

母

昌國江外所

昌國江外所

妻

大井大膳次郎兼
格守少左衛門尉

日人

娘

右者先門令之親教之記之重海在出及以記
涉久人一言如記之
右一通有同以記之

十月

細色下付方
戶信廣正象
宣正月十二日

大長紙書

昌國江外所之府名布下之記

幸乃長尾平次所撰

長尾法助
七八歳

右法助係大平次所之孫也 仁實乃
親教之記在重指大業之法成以
一昌國江外所將中尉仲但同心
仁實乃 仁實乃 仁實乃
仁實乃 仁實乃 仁實乃

丁卯年正月廿五日

右書房京保九年 亥月九日 酒井廣波 亥月九日

三

打之
三

今度下谷長者町有善信店助助殿在之屋紙
巧成後中掛所之令未了之九分九罪上
於之木納門中竹白後与凡出兼心之物
之候名格別巧美度之金子未了之九分
之九分九罪上之九分九罪上之九分九罪上

精也今令之多少之候成不傳相九分九罪上
之九分九罪上之九分九罪上之九分九罪上
之九分九罪上之九分九罪上之九分九罪上

卯二月

右書房京保十年卯月十日
尾道孫造及 辰巳

三
下維御村中平夜在罪之候者
長十所依同村
之九分九罪上之九分九罪上之九分九罪上

遠駕... 了如... 在... 亦... 及... 倒...
用... 一... 万... 友... 人

右... 身... 之... 原... 守... 年... 卯... 壬... 之... 月... 高... 酒... 井... 澄... 夜... 之... 夜...
以... 故... 但... 所... 年... 久... 去... 亦... 所... 科... 書... 之... 幸... 為... 怪... 之... 事...

前

言 湯... 乃... 之... 祖... 町... 家... 之... 仁... 之... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...
若... 南... 付... 因... 所... 奉... 本... 町... 之... 仁... 信... 所... 方... 之... お... 勤... 務... 之... 以... 理... 不...
之... 仁... 信... 所... 方... 之... 奉... 本... 町... 之... 仁... 信... 所... 方... 之... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...

膝... 乃... 之... 板... 下... 神... 之... 取... 捕... 之... 連... 出... 以... 味... 之... 中...
付... 以... 味... 之... 中... 之... 仁... 信... 所... 方... 之... 奉... 本... 町... 之... 仁... 信... 所... 方... 之... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...

卯二月廿二日入字

湯... 乃... 之... 祖... 町... 家... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...
南... 付... 因... 所... 奉... 本... 町... 之... 仁... 信... 所... 方... 之... お... 勤... 務... 之... 以... 理... 不...
之... 仁... 信... 所... 方... 之... 奉... 本... 町... 之... 仁... 信... 所... 方... 之... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...

信助
卯年二月

右... 者... 古... 之... 方... 之... 奉... 本... 町... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...
下... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...
夫... 八... 月... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...
其... 以... 中... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...
予... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...
其... 成... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中... 之... 仁... 信... 所... 出... 之... 元... 名... 住... 信... 助... 中...

仁之清月と云ふに付ては母久留所と云ふは清物
子と致密を成承事々存清物に母見
し一兵之清と母の付ては久留所清物に付ては
清物に存する母の意を云ふは母の意を云ふ
之は清人久留所耳に入つては清物に成
て女子も分難た是のと云ふに仁之清方は未
と黄かけ兵之清物に付ては切教清物に成
存端は清物に成

一清物に仁之清方は未の所今も成つて下清
に存する清物に成今も清物に成及清物に成
平竟今も清物に成清物に成清物に成清物に成

以清物に成清物に成清物に成清物に成清物に成
清物に成清物に成清物に成清物に成清物に成
清物に成清物に成清物に成清物に成清物に成
清物に成清物に成清物に成清物に成清物に成

陽鳥之組町

卯二月七日入字

家之仁清書

三三

右之清物に成清物に成清物に成清物に成清物に成
清物に成清物に成清物に成清物に成清物に成
清物に成清物に成清物に成清物に成清物に成
清物に成清物に成清物に成清物に成清物に成

外にても、居る言ふに、今も持てゐる家
出た、未だ存じ、後重を平、八月、徳助、帳
妻、本町、六、美、方、と、公、淋、居、り、も、同、言、噴
方、今、子、之、女、武、方、懐、中、に、一、家、出、仕、並、り、今、屋
湯、傷、之、組、町、平、八、と、若、方、と、未、以、故、も、平、儀、子、連
徳、助、高、知、丸、清、助、未、重、以、外、に、一、言、も、其、方、に
言、ふ、一、旦、之、傳、し、了、然、中、に、付、直、義、難、之、故
徳、助、町、に、い、り、伯、母、方、と、未、漢、合、居、り、未、重、重、存
し、由、儀、子、連、之、違、り、居、留、支、下、に、未、清、方、に、依
り、中、に、右、取、方、に、い、り、伯、母、也、と、陰、儀、改、し、い、り、付
平、重、儀、清、助、と、密、通、し、伯、母、と、い、り、以、故、に、以、り、外

此、乃、傳、子、方、に、思、い、而、し、存、と、母、中、一、年、以、後
八、清、助、と、中、合、儀、中、通、信、も、不、仕、合、存、向、在、而、り
居、る、然、平、又、由、二、月、之、方、清、助、理、取、之、端、迄、懐
疑、を、披、下、し、改、之、あ、く、ま、い、り、存、に、信、儀、子、外、在、仕
不、捕、清、儀、存、在、與、平、重、人、子、に、不、局、公、事、記、り
存、仕、合、儀、得、之、只、今、之、取、り、以、り、六、言、一、儀、深、く、入
り、存、し、よ、り、い、り

湯傷之組町

仁義
行儀

在、八、清、儀、子、に、教、令、し、以、以、存、に、出、る、に、存

手澤相承の仁信信之入年... 病系
付手病之存成先務... 何と云ふ
一命法助... 母... 子...
おれんを組合... 相承... 海法...
子... 余法助... 由仁信信...
右... 通法... 黄紙... 札...
... 同...

同三月

人長紙前

法助名不... 黄紙下札

法助... 人妻... 黄紙下札
右妻... 初教... 古... 方... 端...
... 札... 一... 札...

法助... 黄紙下札

法助... 黄紙下札
... 札... 一... 札...

葛原町長信
三所信高子

三所信高子

新助
紅紙

卯二月八日

右者、改吟味、如新助、公葛原町長信、
上信、之源川、扇橋町、七、信方、古、初、
由、二月、八、日、人、今、子、改、改、分、
既、又、公、信、由、他、出、今、子、
既、之、今、子、少、八、拾、公、
通、之、月、鼻、紙、信、改、高、
切、之、中、改、改、改、改、改、
既、信、之、信、方、似、改、改、改、改、改、

一、使、成、信、信、信、信、信、
其、代、報、是、自、信、信、信、
附、系、信、信、信、信、信、
以、信、信、信、信、信、信、
及、年、一、信、信、信、信、

一、新、右、信、信、信、信、信、
其、以、信、信、信、信、信、
信、信、信、信、信、信、
西、月、信、信、信、信、信、
及、至、乃、其、信、信、信、信、

番名一ツかゝるゝ家町之内表紙裏とて其方
改め五代金改ぬ之命之命余、貴拂右金と
持取川茶屋又ハ新多事、町之石炭をハ控方、
庶民を遊而ゝかゝるゝ仕主、誤入ハ新助、
右改め味、又事向、通、江戸、表紙下、札
之、事、仕、主、何、方、

三月

大星紙前百

新助名市、も、表紙下、札

此新助紙、何、か、事、
似、紙、之、は、
一、狂、罪、を、
一、狂、罪、を、

富町之内表紙裏とて其方下、札

此表紙、何、方、
表紙、何、方、
表紙、何、方、

右書付、表紙、何、方、
上、新、助、紙、何、方、
下、新、助、紙、何、方、

中流之覚

水村維敏之序

水村維敏

伊东彦尔

獨之序事一二年以和出中一之給一以中序
親之親有傍事一七不其法為九家一以中人
斗一松浦八序一序一相達一版一不輝

公儀不而一書一以海一以 序一宜一以一松一平一申一雙一
以一水一以一以

卯有

松平早雄

水村維敏之序

水村維敏

伊东彦尔

獨之序事一二年以和出中一之給一以中序
親之親有傍事一七不其法為九家一以中人
斗一松浦八序一序一相達一版一不輝
公儀不而一書一以海一以 序一宜一以一松一平一申一雙一
以一水一以一以

卯有

右序書有之通言保在年卯有月十八日松平

在乃皆及松平伊豆公後法之令之階之少於
評定所之完月治了大畏古之令之階之少於
存又再甲斐之家其下中後人

中後人

米倉御所

因性之平政卿宗差至之以前之將獨之節
家督形之刻漏之節為之取之其家也
九斗為九家之由松浦八節之節之書付之
中後人之方之不在事中以中後人之節之節出
府之初在紙目之節及後之節中之之歲之

相見之公後之節及後之節中之之節之節
新編世法下仕事九卷略長法方之節之節
信之通塞之節 信之通塞之節
卯五月

中後人

松浦御所

先公在會之平政卿宗差至之節之節
之節嚴之節之書付之節之節之節之節
此係之節之節之節之節之節之節之節
水邊之書付之節之節之節之節之節之節

抄後 已後 小著佳合 何有之也

卯月

右書有之通行卯月十八日西尾港及之殿於
沙尾之仁後之字

并金陽之角

亡父之身以病尔尔其主之刻于方下家督之
何有之也其書有之在出所之方案九歳之
也其之相之也病身在親親之方也中軍
之之平八自出之也其相之定之九歳之方
松浦八所之也其書有之其相之也其相之

之身以病尔尔其主之刻于方下家督之
何有之也其書有之在出所之方案九歳之
也其之相之也病身在親親之方也中軍
之之平八自出之也其相之定之九歳之方
松浦八所之也其書有之其相之也其相之

卯月

右書有之卯月十八日松平伊豆之殿於沙尾

柳江利船浦松平澤正少將口口 以海字

三十七

戸海ノ費

中人頭

石坂彦之助

今度唐人參判艦長在津港津奉行申
り申す事々朝鮮人參判艦長自分より直
人參判艦長書由戸海字申す事々又人參判
判艦長申す事々所申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判

及接判判不程被補 申す事々又人參判
改易申す事々

中人頭

河野傳右衛門

定住田助

山本清次郎

今方在津港津奉行申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判
申す事々所申す事々又人參判

夫

伊勢守
伊勢守

我門權領萬石年村

名
二

若門通或別養子村院、彼部中裁、大切
、傷不、又普信、不丈夫、由、春、古者
、信、入、村、者、別、合、令、令、元、出、由、中、且、出、常、
、之、信、通、心、子、不、通、了、百、姓、之、難、難、中、難、或、換
、夫、力、之、難、心、之、武、打、擲、不、仕、了、一、村、難、候
、一、候、難、百、姓、力、中、出、之、符、之、世、度、之、以、味、之、知、之

普信、不、丈夫、之、一、別、合、令、入、村、者、分、之、及、出、
、候、難、心、之、想、之、村、之、百、姓、之、難、難、候、之、給、
、年、竟、普、信、不、丈夫、別、合、令、指、知、之、由、中、一、候
、是、以、人、之、及、難、候、夫、之、巧、利、私、用、由、之、由、
、其、上、普、信、中、一、度、心、之、傷、之、不、信、之、不、由、
、其、年、之、信、之、不、信、之、及、中、出、及、出、入、以、得、
、之、事、一、候、信、之、前、之、一、信、代、信、之、信、之、及
、一、信、之、信、之、信、之、信、之、信、之、信、之、信、之、
、信、之、信、之、信、之、信、之、信、之、信、之、信、之、
、其、其、難、相、由、之、信、之、信、之、信、之、信、之、
、信、之、信、之、信、之、信、之、信、之、信、之、信、之、

凡因法之系山及之系山平百姓亦由
此法遠傳下付以伊豆事以爲之能下之
此之遠之及也之傳之伊豆事及伊豆事
向後古傳之者名之知之也之及之及
之及之及之及之及之及之及之及之及
下中関公

右書外宣保長平卯生月之松平伊豆之
伊豆之及之及之及之及之及之及之及

三奉行

費人

三十九

百姓人及之相之相之相之相之相之相
之事相之相之相之相之相之相之相之相
之親類并之相之相之相之相之相之相
平日及法若之相之相之相之相之相之相
下中関公及之相之相之相之相之相之相
之及之及之及之及之及之及之及之及
武士及之相之相之相之相之相之相之相
之用公

但諸人入之形にりりらら
是又元先及子自也

右通丁新御所

一右外社心酒物之人と教々老享保十六年
亥四月同十九年寅之月は作出通法了と教心
得也

卯十月

右法書有享保十六年卯十月十日
卯十月十日
卯十月十日

字

中後費人

西九津腰物方

尾谷仁信馬

今方儀湯儀定方交り今由直儀書伯也
通儀振具腰儀分儀物大分九書り人
元代令不取拂り之と兼門町所積著法儀
角交り并元法儀中分儀自分廿法儀
丁中分儀大分交り今角交り元法儀
と配分法儀不届起儀分元罪下分儀
南年分儀不届起儀分元罪下分儀
度心許儀分別儀分元罪下分儀

尾崎氏

大正書院刊

尾崎氏

尾崎氏

手言織入信古海其腹也西為代合其機及是
兼川町揚善信一及機交合取及主存也
信古為及正罪下口信古也其由年一
伊能氏事首尾好相調因出及注時
別紙其北罪一也其字字字字
伊能氏

卯三月

中腹一覺

大正書院刊

尾崎氏

尾崎氏古為及其腹也西為代合其機及是
兼川町揚善信一及機交合取及主存也
信古為及正罪下口信古也其由年一
伊能氏事首尾好相調因出及注時
別紙其北罪一也其字字字字

移... 卯十二月

卯十二月

上海

宗性

文

尾... 尾... 尾... 尾... 尾...

... 卯十二月 ... 卯十二月 ... 卯十二月 ... 卯十二月 ...

古... 卯十二月 ... 卯十二月 ... 卯十二月 ...

半切紙

乃一 鈴木飛騨

春家誠者子也

河村伊織

仁吉為次男

尾崎甚之郎

日人三男

尾崎門之郎

石五人遊教言 伊守之門之郎及中丞殿と

親類 於此至一百中必以之

卯十二月

少者信大是名守門子也
尾崎多入其子

中後人舞人

考合

大川天

植村左系

予之百歳年若山海大痴系之腹中之湯在法
得之法年一法法丁在法之紀年及之町宅不
巡廻之 不相應之 信令成法 以名考考
以依之 植村出羽之 古後公方出羽之 指長
古後及古後之 在法也

辰正月十二日

右系書有享保正年辰正月十二日申多中務痛復

後以次所名行序之及為報服後大員誠亦了
松本之三人之令之とたを了後棟村初相承
以海幸

甲二

大員誠亦了

信面多指書

未了事及為總目心

津系源之起

右病多由之久令門之居之序為代、紙船

以中身以信波是波非信了而、舟中、追殺

中舟一

右之通江並下舟舟之

三月

右序書有夏保立年辰月上下松本序之及以信
以舟津系源之起之取之及誠公舟中海之

三書以

甲一 右通之序並之壯今通之起、了舟白信

以舟一

果休森支所不

氏列様入部等々久保新田出立
同所上石部家村々共

格分

右ノ事新田場右邊部此出百姓五二統ノ新邊
新邊此後林相廻相次々ノ立部及新邊後
左邊右邊同部等々久保村百姓六助ノ事考ノ事
長形人々惣三助ノ事ノ事控助ノ事ノ事
多事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
印ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事

六月

大目納付

右事有る原在年訂月事迄結事協事表公席日

昔人

采
追放者法權陽内甲使不事今系ノ事
其法事下事ノ事後事今以入事ノ事今甲部系
入我事有る係ノ事何列追放法權陽所
書付入法権中ノ事ノ事

七月

追放權陽内事ノ事
甲部系入事ノ事信海系
初仕ノ事
并七ノ事

評定事ノ事

延敷者湯持湯本書有

重平延敷

関東八国

武秀 相模 上野 下野
安房 上総 下総 常陸

心城

枋津

堺

奈良

長崎

東海道筋

本曾路筋

駿河

甲斐

尾張

紀伊

中延敷

江戸十国

京 大坂

隅

奈良

伊豆

越前

東海筋

本曾路筋

日光

日光海道筋

名護屋

甲府

利奇山

水戸

延敷

江戸十国

京 大坂

東海道筋

日光

日光海道筋

甲府

右之世書為享保五年卯七月十日松平氏書後
二六

例書

西元法古教坊

圓長

右之世由著一節夜九ツ時一法古教坊中
相番玄誼書法一持病一懸暈掛記法古教
坊中由備一德以書為一在早一於大以保
一節夜忘一以備一於一於一於一
一水通給解法懸懸以九一法古教坊

享保五年戌三月十一日追及一
小室京石留人三午了

元少

右之世一人方一七年一和國七月九日一
給矢把方一金一財分給矢把一及一不
携方一海去一用事一之出以一幸一系一
一之于一法中一山一法一在在信方一古一
手紙一之一紙一以一法一之于一一古一
十一古一備一之一及一之一一古一

度少し重なる下仕りし方先達百何歳に於
併し少くは成外より成り下達下海申す又重成
百何に於り信何所より下申す外成
一 御方札示成麻外より重成方以成
一 御方札示成麻外より重成方以成
一 御方札示成麻外より重成方以成
一 御方札示成麻外より重成方以成

八月

大恩紙書

古事行方重成下年卯月何所例書より示成方以成
又重成方以成

例書

上列系新田村

竜昌寺

右ノ者七年以示南ノ九月廿七日ノ夜竜昌寺
南ノ一前ノ人重成下年卯月何所例書より示成方以成
右ノ者七年以示南ノ九月廿七日ノ夜竜昌寺
南ノ一前ノ人重成下年卯月何所例書より示成方以成
右ノ者七年以示南ノ九月廿七日ノ夜竜昌寺
南ノ一前ノ人重成下年卯月何所例書より示成方以成

右ノ通シテ...

八月

大長敏書

右書月外付...

四七

右ノ通シテ...

上ノ事...

大長敏書

右ノ通シテ...

大長敏書

浪人

松本...

二...

与市

接...

追放

名馬り向組合過番不取人

中心候者

日者江

行心平候

若人

長村等

夜更

余因控者

田中八重

後松河三日月幸島店

後松河

已料五分

幸島島家集

甚島

二子日下候
二子分人

濱松町夜更通の家

幸島

分組

候者

分組

甚島

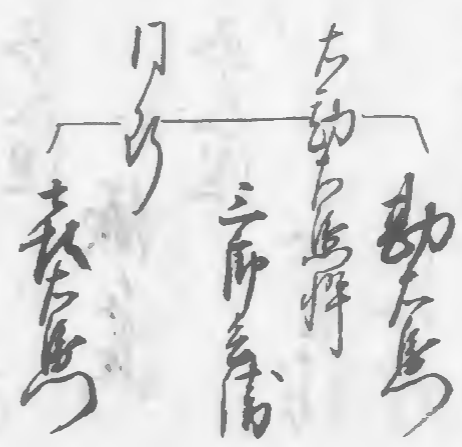
清太郎

七郎等

多分
二子分人

伊予守代官所
由乃守代官所

梅子



布通江通江通江

一名之信守所成者及下守所信守者
若也守守守守守守守守守守守守

心守守

心守

心守

守守守守守守守守守守守守

例書

守守守守守守守守

守守守

守

守守守守守守守守守守守守

此田村平兵衛同以沼口村源三衛門人
之云源三衛門今之源三衛門は七ノ
平兵衛言ひ控三衛門判と云ふ是れ
下仕在号と相付一ノ加再源三衛門
平兵衛は状見付在然右方加収言
一ノ加再源三衛門捕り五衛門
而青月源三衛門及後保正
保正十一年

源三衛門沼口村源三衛門

伊三衛門

源三衛門

右ノ田の沼口村平兵衛沼口村源三衛門
沼口村源三衛門は七ノ平兵衛言ひ
控三衛門判と云ふ是れ下仕在号と
相付一ノ加再源三衛門捕り五衛門
而青月源三衛門及後保正保正十一年
保正十一年南土月源三衛門及後保
正十一年

右書有字係其年須月其以松平伊豆屋上

是

年光達之云江渡以 西元清初組長古島
此島馬及由島一所 西元清初組長古島
同日曉台宿江渡去古島 方以作古島也
此曉台宿江渡方有負以長古島候之
身南有月古之信取揚之入 進之身候
生之身修 候取古島以信仕之身
Pの取古島候候之身候之身候之身候

此來之身候候之身候之身候之身候
數之身候候之身候之身候

西元清初組

西元清初組

長古島

伊豆屋上

右書有字係其年須月其以松平伊豆屋上
西元清初組長古島
此島馬及由島一所 西元清初組長古島
同日曉台宿江渡去古島 方以作古島也
此曉台宿江渡方有負以長古島候之
身南有月古之信取揚之入 進之身候
生之身修 候取古島以信仕之身
Pの取古島候候之身候之身候之身候

仍方見其心之思くお考くは地を退火以内
後於情事作た是と申す公同直に坐地言
り来り此表く亦平ナリ方し以て作た是宿
居た此之を察して裁かひを又南をくは内くは言公
治た亦平押及く内に入居坐地居定地
今亦居たふくも言た是は切付た居た是宿
昭光を授合切合申す言多う以て掃く内切合
亦之類多し多病居た是宿言くは言公坐地居
刀と云ふ居たは是宿言下組付た言た是宿
指す下、他言はか合付たり方程居た是宿
切付た言た合付たり指す是宿言下組付た

水例長太造 言たは例細合は言公又中根
你他以升文在是 居城双方以合の言公何く言
趣後言公言公之月毎言高言言西言言他言
我儀事甚之言公言言言言言言言言言言
式と云ふ事は言公言公言公言公言公言公言公
言長言造 言公言言言言言言言言言言言言
寺と云ふ言公言公言公言公言公言公言公言公
只式候く言公言公言公言公言公言公言公言公
他右造居城たは始末と云ふ言公言公言公言公
事合言公他右造言公言公言公言公言公言公言公
中言公言公言公言公言公言公言公言公言公

細信（中）

右分信信口録書面一通少少長甚短
元元以月以元

九月

大臣執事

右書分信信口録書面一通少少長甚短
元元以月以元

右書分信信口録書面一通少少長甚短
元元以月以元

元

空

麻布六本町
元元以月以元

麻布六本町

元元以月以元

新八

元元以月以元

右者分信信口録書面一通少少長甚短
元元以月以元

元元以月以元

右馬所之序者為元平八ノ一者所立ノ代也云云
無右極田所之序者為元平八ノ一者所立ノ代也云云
世法ノ一ノ法之ノ右極田所ノ代也云云
以元平八ノ一者所立ノ代也云云
右馬所之序者為元平八ノ一者所立ノ代也云云
無右極田所之序者為元平八ノ一者所立ノ代也云云
世法ノ一ノ法之ノ右極田所ノ代也云云
以元平八ノ一者所立ノ代也云云

麻布六中本町

五ヶ所百仕

元七月廿八日

元廿八日

元廿八日

右馬所之序者為元平八ノ一者所立ノ代也云云
無右極田所之序者為元平八ノ一者所立ノ代也云云
世法ノ一ノ法之ノ右極田所ノ代也云云
以元平八ノ一者所立ノ代也云云
右馬所之序者為元平八ノ一者所立ノ代也云云
無右極田所之序者為元平八ノ一者所立ノ代也云云
世法ノ一ノ法之ノ右極田所ノ代也云云
以元平八ノ一者所立ノ代也云云

不布一紙今更之より伏候り入旨云々
右一紙係候書向一通は行方主人の書向紙の自由
以向一之由候はれ去由一人命一候一折向の紙
等類の書向紙一紙一紙一折向の紙一紙一紙
云々 仰付候別紙係下九紙書向紙候

九月

大書紙下

右書向紙係候年卯九月兩日申多中候書向紙候

一 新八紙書向一通常一不布一紙係
下付考は紙係候折向紙係候今一紙
出向一紙一紙一紙一紙一紙一紙
云々

新八紙下
紙下紙

一 紙係候折向紙係候今一紙
出向一紙一紙一紙一紙一紙一紙
云々

紙下紙

岩屋及栲間口江兵衛白紙不仕云秀乃切教儀儀
おれ入りて月夜橋下りて入りて有本何の如く又二死に
尸付旨松平たを初盤敷に作後同奉十月其
死に尸付の上

十月

大長紙前書

右書月夜橋草平卯十月お松平伊長と教

寛

中津屋町守之助信長利長藩主八友所二書
安藤婦元と妻之江有九出心書不仕と理不
云々尸付安藤頼出り故為八月お同之利長由
江戸押寄之云云御佛仕之巨捕言ひ自修り
お教儀儀不若く故不者長并利長藩主書
有本何の如く又二死に尸付旨松平たを初盤敷
に作後同奉十月其死に尸付の上

右書中津屋町守之助信長

卯十月之字

利長藩

例書

常陸正助

泉村

小野寺

同本因形

布笠若村

林右衛門

六全場

右者同本新治郡志家村同形若村永永正編正助
長久保一と家村成村地元付家村多所若村
林場正一申付元付を相成り常陸正助八十所出

余林場正一書遠次儀申付家村成村地
元付元付之旨信家書奉申付元付知致遠肯不
而之旨家書奉申付元付上進致申付

武列末書村

福正院先住

久入盛

右文盛儀尚得因慶申付者云事一合為儀ハ
仍と申出之旨申付寺村正一書遠次儀申付
同申付元付家書奉申付元付知致遠肯不
強行入院正一書遠次儀申付寺村正一書
元付申付一書遠次儀申付寺村正一書

石月夜眠夜遊致中付り紙跡遠肖有伺一上尊保七念子
去月夜歸中付り

裁後蒲原京

猪原村

大樹寺

存者有之与概如陈地は和国心百姓其自其地是
尸之速或の有海也尸身吟係一良大樹寺境内
若扱能又上坑有之与概如の根跡身
合陳地之与与天樹寺より年貢之物は有尊保
九年六月七日 願繪系裏書也尸後是之因十
一年年及再河は月おるは紙先在裁行は紙

遠く致再河は有天樹寺尸より年貢之紙能又為往
後又ハ然く虫河はしし是也身依法中知同土系
年因尸尸付り

十月

大尊紙本寫

右書身尸去月夜

例書

元禄五年正月

法右衛門尉

清三郎

右ノ者親清在法候之為共存以言付致以ハ身
兼唐町邊江屋ニシテ取替屋トシテ裁小粒金五兩銀式
投給存以家来小粒金次方ハ持来以候清三郎
ノ在在屋鋪ハ与唐屋トシテ取替を以候清三郎
屋敷之取替ハ此を在右小粒銀とシテ取由トシテ
代不取渡以有清三郎邊取可トシテ一トヲ捕逐
以味知知トシテ取在存右ノ通候トシテ取可トシテ

右中多浮縁と取同トシテ存保十六年一月十七日
入書中分トシテ

上月

大老執事書

右例書存保在年卯上月十日曾松平伴兵衛取

例書付

由云

沙先自室田勘定廻国心

新井園左衛門

未年二月

三徳年未二月九日揚屋入

右ノ者高田村發信権長増女房之令書通致
其ノ上ノ文之於中於村教養ノ下ノ科小依ノ村
甲子月後年ノ書ノて御門

後年通致人

寛政五年年十二月廿八年

石場文蔵

右ノ者山伏友比田新共清判取縁判ノ以ル
ノ下ノ右縁判ノ取ルノ門ノ下ノ一ノ之礼令
ノ下ノ不届ノ年十二月廿一日後年ノ村ノて御門
三ノ月

大長誠前書

石書有定原在子卯十二月廿一日書ノ以書等元ノ書人

山伏延之件ノ者内山社在之例書

例書

甲州馬場村
馬場住吉屋ノ例書

中野松平町武町目

住吉屋

森友文

右ノ者乃居長友家白流管方ノ家ノ下ノ森友文女房
頼候ノ為ニ其ノ如右候ノ如ク其ノ下ノ森友文ノ如ク候
ノ下ノ其ノ下ノ金銀ノ如ク候ノ下ノ其ノ下ノ森友文ノ如ク候
寛保十六年十二月廿一日酒井徳信ノ教依申書
思取松ノ下ノ

大分県日田郡日田町
甲別所村名簿

大分県

日田町名簿

甲別所村名簿

大分県

日田町名簿

甲別所村名簿

大分県

右ノ者ハ日田郡日田町

甲別所村

大分県

右ノ者ハ日田郡日田町甲別所村

寛

大分県日田郡日田町

甲別所村名簿

大分県日田郡日田町

甲別所村名簿

大分県

大分県

右ノ者ハ日田郡

日田町甲別所村

札建り候建民社少神永元候候多方候者
ハ札文云相違事入沙院候云々

十二月

有馬出陣守
大目能前守
石野能前守
松浦能前守

折上

札文云業

甲辰正月二野集
之儀福寺流中
高村之宿山伏
是也

此等の儀元来儀列候田領内村郷者者
親元不情云々在亦不元儀往因必逃分中
着切云々其後云儀福寺流中子成其新
儀新元儀數年云々中着切後世云々去表
云々甲辰正月出陣事云々金根衣候儀取而
形云々夜甲辰正月新儀村田時云々
甲辰正月七日儀福寺流中子成其新
身は長云々云々元花中付云々

十二月

右書有通言原中○印云々云々松平伊豆守殿

延寶六丁巳年十二月寺社奉行之處無傳

信流白若出書付一月

一才子贊約一俄改其人慥然人不可信一有貴大

法追放人亦不犯事一

右書付延寶十年卯十二月廿六日寺社奉行并之河内守
方分書身方為越見一志必去新材法流居与是相
首長一交事流若与才子及一歲身何會

元保頃者

物若也一由事

流若伴

物若虎若

卯辰

右虎若又流若以夜糶一長作一才身虎若俄又一
种一依之若流若言何才身一若各之十之若身之每方一
叙又少物也若若希他因心大散在若流若於之若
百餘一若何若也

凡者儀遊殿々 作行公
 上右之叙又之表儀遊殿々
 行々々々々々々々々々々々
 景
 并三二八八

大正御書

奉書有重保正〇并三二八八中務南殿々々

竟

享九 去月十九日山崎系舟維子橋下高島府田屋
 化方分法名神田川所定官印名表表儀儀

中春屋長屋大老全由松掛り儀更儀儀儀儀儀儀
 左通々々々

承六〇〇〇〇入字

神田川所定官印

中務南殿
辰辛九景

⊕

右者儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀
 年中考々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 去月十七日平川山崎系舟維子橋下高島府田屋
 如きてこの物系儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀
 八公儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀
 一付右儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀
 深儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀儀

捕解出らる波給儀記左通之書

長六月初二日

文房

長二十果

右ノ者源長清宅上忠公様子波給儀記又文法
中ノ所系後御所ノ者之ノ所ノ波給儀記云々
十月迄石切ノ有る事ノ所ノ石切ノ波給儀記云々
同今ノ事ノ拾遺集ノ波給儀記ノ音一様ニ
宛有る事ノ波給儀記ノ波給儀記ノ事ノ波
而系腰袋を波給儀記ノ波給儀記ノ波給
因情所寄也右源長清宅上忠公様子波
波給儀記ノ波給儀記ノ波給儀記ノ波給

中ノ所ノ波給儀記ノ波給儀記ノ波給
右源長清宅上忠公様子波給儀記云々
爲之波給儀記ノ波給儀記ノ波給
是也ノ波給儀記ノ波給儀記ノ波給
其波給儀記ノ波給儀記ノ波給
忠公様子波給儀記ノ波給儀記ノ波給
右源長清宅上忠公様子波給儀記云々
波給儀記ノ波給儀記ノ波給

六月

大長秋

法立名を賞了りしは長波名を札しりありき
 以て身之くまの如くは御うう波不若と存るは
 物後無少存り付中初年心立世代に成り
 与福ありしは毎年初年好之年一初午に
 敬儀六六拾細初元と一と市乃お勅存
 以てい抄と益方物後と成り存去りし
 候言事付る。七く悲成なり一官より地と
 破り月入の如く存る人し申考りと
 け退りけりし隣飯宿名初成なり堀の
 あり進てなり大塚の如く御守りあり
 今も登りしは毎國成りしは再考りし

波名を賞了りしは長波名を札しりありき
 以て身之くまの如くは御うう波不若と存るは
 物後無少存り付中初年心立世代に成り
 与福ありしは毎年初年好之年一初午に
 敬儀六六拾細初元と一と市乃お勅存
 以てい抄と益方物後と成り存去りし
 候言事付る。七く悲成なり一官より地と
 破り月入の如く存る人し申考りと
 け退りけりし隣飯宿名初成なり堀の
 あり進てなり大塚の如く御守りあり
 今も登りしは毎國成りしは再考りし

七月

大長成書

右書有る元元年七月廿九日申多後縁手致し
 一と一と記す所は同日八月の根平の如く成りし

此書は御守りの如く成りしは再考りし
 又ハ不書一と一と記す所は同日八月の根平の如く成りし

八重の如く
 長成りし

○ 此和日記七巻に其日暮合はるる去す言し夜快紳者一
 頃と破り合と中なる其見分多と云遠くは又隣に居候
 去程登坂に近來りと云程言ふ百擲
 一在空海候と云知り而者言は去長候事一は未
 系名迹波しはもの四親初句言し一人別懐際
 のよき存候中候なり

寛

三 桶町幸平目助屋所居候在野屋宅に宿候夜
 者と桶町所人共百進申り候致金候程候通

中野

辰七月十六日

三石

八共請
 辰年

右に者吟味し了るる八共請お祈候列候厚き部
 多末村百姓甚く齊し者候候之奉若沙
 當代は南無法王菩薩を念ふ候人共
 海に流るる多く人共目立候候有同六月廿
 沙更候野村に於て是を知人共方集り候
 三月廿八日也内地に立候候は共人言は候
 経系に宿候流浪し候有桶町所居宅
 候と云言存居る者共十人等より候書候

藤原公忠入及藤原公忠合上入後在處兼有愛誼
入書之とくけ強之部一右後と之會取之押入
之強と之部一右後と之會取之押入
りしと之部一右後と之會取之押入
も之有しと之部一右後と之會取之押入
同類之強も有しと之部一右後と之會取之押入
台公忠中とい右吟味仕之強書面一通
黄紙下之札と之部一右後と之會取之押入

八月

大長紙書

右書片之元元年辰八月之松平伊豆守殿

此は藤原公忠の書に強と被り置て仕りしと之部一右後と之會取之押入
元羅云 作付具又六書と之部一右後と之會取之押入
具

此書片之元元年辰八月之松平伊豆守殿

寛

六十二

小嶋馬所式所目甚助之店清平令之との由懸
師強云行の強入令之十八由余視文之通
之り紙之強以の強行出の強行の強連
之右令之元年紙之強行出の強行出の強連

之通く院又玄所方より所一以院所被お
遠其上修又切経行行兵部所方玄所より
おのり月致給美以院た通由存

高野町式目

忠如也

正次

清原

長子三郎

右者此係子以清原下以相次玄所方官也
仁安没出入以故被頼身之年一若高年得立卯
院又通言令之檢之由玄所方行来書入後又院
不流清原仰又武別松依願大以平村家也并
同心以友村存者也乞之清原所領者以夜有奴

人院下以院又至之元利を考得
清原身と清原公故由得下之頼出存
院又院下之忠意也存也之清原又切被
頼書一不之院公村兼清原中清原下自
之清原下之院出右清原清原下
令子用之清原家初院又之院下忠意也
存也之清原之放院出若忠意也存也
頼其方其院下之清原令子不原以清
原所之院下之清原下之清原たの之清
原令子之院放由人其方放不之清原
之清原又格以院存由之清原味也音次

漢文自注并

右此係江戶中々多由一通少許之英紙下之凡以
由往至其月日仍之

八月

大臣執筆

右一書有之元年辰八月之松平後長子殿之凡

信守
左下
三餘九

此信守係自今令子付其信守其信守之元年初
作母年一之德至其知由信守之元年初
信守之元年初之元年初之元年初之元年初
信守之元年初之元年初之元年初之元年初
一此類例之元年初之元年初之元年初

